

(2016年8月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

＜ポイント＞

【政治】

● プリヴェール（暫定）大統領は120日間の任期終了後初となる公式外国訪問として、メディーナ・ドミニカ共和国大統領就任式に出席した。（16日）

● 臨時選挙管理委員会（CEP）は選挙予算を55百万ドルと発表した。（19日）

【経済・社会】

● ラフィート一港倉庫において、日本からの食糧援助（KR）引渡式が実施された。（25日）

● 7月インフレ率、前年同月比+12.9%。

1 政治（内政、外交）

（1）ハイチ内政・外交

● 10日 アントワーン（Uder ANTOINE）臨時選挙管理委員会（CEP）事務局長は、大統領選挙等への選挙資材調達先は今年もドバイの業者になることを発表した。／CEPは上院議員選挙の最終立候補者リストを公表した。2名が審査に外れ、118候補が正式登録された。

● 11日 米州機構（OAS）は選挙実施に係る声明を発出し、全ての関係者に「自由・公正・透明な選挙の実施に向け責任を果たし、予定された期日に選挙が実施されるよう」呼びかけた。

● 16日 プリヴェール（暫定）大統領は120日間の任期終了後初となる公式外国訪問として、メディーナ・ドミニカ共和国大統領就任式に出席した。

● 17日 CEPは、選挙実施に必要な予算は55百万ドル（3,520百万グルド）と発表した。

● 19日 ハイチにおけるコレラ問題に関し、国連事務総長報道官談話において、国連に「道徳的責任」があるとの発表がなされた。

● 22日 CEPは選挙キャンペーンを23日に開始すると発表した。

● 29日 アリストイド（Jean-Bertrand ARISTIDE）元大統領が、ファンミ・ラヴァラスから立候補しているナルシス（Maryse NARCISSE）候補支援のためペチョン・ビルでの選挙キャンペーンに参加した。

● 30日 バルガス・ドミニカ共和国外務大臣がハイチを訪問、プリヴェール暫定大統領と会談した。ハイチ政府によるドミニカ共和国製品23品目の輸入制限解除に向けて協議が行われた模様。

（2）日・ハイチ関係

● 25日 ラフィート一港倉庫において、日本からの食糧援助（KR）引渡式が実施された。同支援において8,509トンのコメが供与された。

2 経済・社会

● 9日 ハイチ医療系NGOザンミ・ラサンテ（Zanmi Lasante）は2名の新生児に小頭症が見つかったことを発表した。

● 19日 経済・財政大臣は燃料費の値上げを発表した（各1リットルあたり、石油：189グルドから219

グルド、重油：149グルドから179グルド、灯油：148グルドから173グルド)。大臣は、この値上げはドミニカ共和国の物価水準に合わせたものであり、国際的な燃料価格の上昇に対しこの6-7年間値上げが行われていなかったと説明した。

- 24日 市民からの強い反対の声を受け、大統領府官房長は燃料価格の値上げを一時中断すると発表した。
- 25日 保健・人口省は、本年2月から8月13日までの間に2,984件のジカウイルス感染を確認したと公表した。感染件数は西県が最も多く1,045件、次いで北県で583件。
- 30日 ハイチ・ドミニカ共和国国境付近において、旅行者が警察官に扮した強盗により襲撃に遭った。
- 7月インフレ率、前年同月比+12.9%。

3 文化・その他

- 26日 首相府広報担当は、「首相府優秀者奨学金」の実施を発表した。高校卒業試験（BAC）で優秀な成績を収め、国内の私立大学に合格した3名の国家レベルの奨学生及び10名の各県奨学生は、1年間の授業料が免除され、公務員の月給相当額が毎月首相府より支給されるほか、国民教育・職業訓練省からはノートパソコン等学用品一式が授与される。